

6 映像を調節する

プロジェクタの映像を調節する方法については、P 5 からの「コンピュータとプロジェクタ、6 映像を調節する」に記載してあります。そちらを参考にしてください。

留意点について

1 写真を提示しているときに、自動的に電源が切れてしまわないために

バッテリー使用時では、一定時間何も操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐためのパワーセーブモードになり、自動的に電源が切れてしまいます。

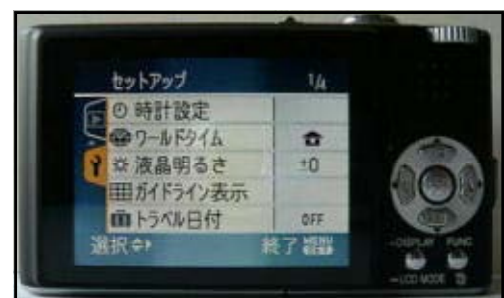
授業でデジタルカメラの写真を提示するとき、バッテリー使用時では、写真を提示した状態のまま一定時間何も操作しないと、パワーセーブモードにより自動的に電源が切れてしまう場合があります。写真を見せたり、写真の説明をしているときに、電源が切れて写真が投写されなくなると、生徒の集中力を途切れさせる原因にもなります。

授業で使用するときには、自動的に電源が切れないようにするために、パワーセーブモードを解除しておきましょう。解除する方法は、デジタルカメラのセットアップメニューの中から「パワーセーブ」を選択し設定を「OFF」にします。

デジタルカメラに電源用コードが付属されている場合は、電源用コードでコンセントに接続して使用してもよいでしょう。コンセントに接続して使用しているときには、パワーセーブモードは働きませんので自動的に電源が切れる心配はありません。

<メニューボタンを押しセットアップメニューを表示する。>

MENU/SETボタン



<カーソルボタンで「パワーセーブ」を選択し設定を「OFF」にする。>

カーソルボタン
上下左右の
4方向



2 写真の一部を拡大して提示したい場合

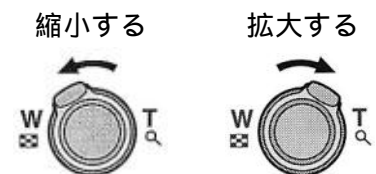
デジタルカメラの中には再生した画面表示を拡大する機能を持つものがあり、デジタルカメラの操作で写真の一部を拡大して提示することができます。コンピュータを使用しなくてもできます。

デジタルカメラの画面に再生された写真の状態がプロジェクタから投写されますので、画面表示を拡大する機能があれば投写された写真も拡大されます。また、写真の中の拡大したい部分を移動選択できますので、写真の見せたい一部分を拡大して提示することができます。

授業で使用する場合には、どこまで拡大できるのか、拡大したときの画質はどうか、事前に確認しておきましょう。

<ズームレバーで拡大する>

ズームレバーを動かし、画面の写真を拡大する。



撮影した状態 (1倍)



2倍に拡大



8倍に拡大



<カーソルボタンで拡大したい部分を選択>

画面を拡大した後，4方向（上下左右）のカーソルボタンで拡大したい部分に移動する。

2倍に拡大

横方向への移動

縦方向への移動



3 時間の短い動画ならデジタルカメラでも可能

デジタルカメラの中には，動画を撮影できる機能を持つものがあります。短い時間であればビデオカメラではなくデジタルカメラでも対応することができます。

短い時間であればデジタルカメラでも動画が撮影できるものがあります。わざわざビデオカメラを準備する必要もなく，手軽に動画を撮影することができます。

プロジェクタで投写する方法も，写真を投写する方法とほぼ同じですから，写真と動画の両方をデジタルカメラから投写することができます。